

令和7年度 第50回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）」の満1歳以上満3歳未満の「表現」のねらいについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 身体の諸感覚の（ ）を豊かにし、様々な感覚を味わう。
(2) 感じたことや考えたことなどを（ ）に表現しようとする。
(3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや（ ）が豊かになる。
- ア 感性 イ 経験 ウ 自分なり エ 美しさ オ 意欲
- 2 次の(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) ボール投げの絵で、自分よりも小さいボールを大きく描く。
(2) 道の横の街路樹や家が、横に倒れているように描く。
- ア 正面構図 イ 折半式構図 ウ 集中構図
- 3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) 土粘土は可塑性が高く、水分量によって硬さが自由に変化する。
(2) 油粘土は比較的保管が容易であるが、紙や木の上に放置しておくと油分が抜けて扱いにくくなる。
(3) 紙粘土はパルプにロウを加えて作り、乾燥すると強度が増して軽くなる。
- 4 次の文は表現技法について述べたものである。技法の名称を答えなさい。
- (1) 絵の具のついたタコ糸を紙にはさみ、紙を押さえながらタコ糸をゆっくり引き抜く。
(2) 木の葉を画面に並べ、金網とブラシで絵の具を霧状にして定着させる。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和7年度 第49回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）」の満3歳以上の「表現」の内容の取扱いについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児期の（ 1 ）は素朴な形で行われることが多いので、保育教諭等はそのような表現を受容し、園児自身の表現しようとする（ 2 ）を受け止めて、園児が生活の中で園児らしい様々な表現を（ 3 ）ことができるようにすること。

ア 感動する イ 楽しむ ウ 感性 エ 自己表現 オ 意欲

- 2 次の(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) スタンピング (2) マーブルリング

ア 切り口に変化のある野菜に絵の具をつけて、その形を写し取る。

イ ビー玉に絵の具をつけて紙の上を転がす。

ウ 水を入れたバットに、溶いたアクリル絵の具を落とし、軽にかき混ぜ、紙で水面に浮かんでいる模様を写し取る。

- 3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) クレヨン顔料を接着剤で固めたものである。

(2) 鉛筆の芯の「H」は「B」よりも柔らかく、濃い線が描け、幼児に適している。

(3) ポスターカラーは、不透明絵の具の一種である。

- 4 次の文は幼児画の特徴について述べたものある。構図の名称を答えなさい。

(1) 自動車を横向きに描いて、見える側の2つのタイヤに見えない側のタイヤを描き加えるなど、視点を1つに定めない表現方法。

(2) 土の中のアリの巣を描くなど、見えないはずの部分を描く。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和6年度 第48回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）」の満3歳以上「表現」のねらいについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) いろいろなものの美しさなどに対する（ ）感性を持つ。
- (2) 感じたことや（ ）ことを自分なりに表現して楽しむ。
- (3) 生活の中で（ ）を豊かにし、様々な表現を楽しむ。

ア 考えた イ 斬新な ウ イメージ エ 画一的な オ 豊かな

2 次の文を読んで、正しいものには○，誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 色鉛筆は顔料を油脂で固めたものである。
- (2) コンテは油に溶ける性質を持っているので、墨絵風の美しい表現ができる。
- (3) はしペンは割り箸の先端を削ってつくるペンで、手軽に用意することができる。

3 次のア～エの組み合わせのうち、表現技法内容が同じものを2つ選び、記号で答えなさい。

ア はじき絵・フロタージュ イ 貼り絵・コラージュ
ウ 合わせ絵・デカルコマニー エ ひっかき絵・バチック

4 次の文は幼児画の特徴について述べたものである。構図の名称を答えなさい。

- (1) 自分より小さい「ひよこ」を自分より大きく描く構図。
- (2) 画面の端から端まで一本線を描き、その上に人物や建物を並べて描く構図。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和6年度 第47回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）」の満3歳以上「表現」の内容の取扱いについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

生活経験や発達に応じ、自ら様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に（ 1 ）させることができるように、遊具や（ 2 ）などを整えたり、様々な素材や表現の仕方に親しんだり、他の園児の表現に触れられるよう配慮したりし、表現する（ 3 ）を大切にして自己表現を楽しめるように工夫すること。

ア 受容 イ 用具 ウ 発揮 エ 模倣 オ 過程

- 2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) スクラッチとは、明るい色のクレヨンの上に黒いクレヨンを重ね塗りし、上からくぎでひっかくと下の色が出てくる技法である。
 (2) フロッタージュとは、水面に墨汁などをたらし、その上から紙をかぶせて模様を写しとる技法である。
 (3) ドリッピングとは、ビンの蓋に絵の具をつけて紙に押しつけて写す技法である。

- 3 次の(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 正面性描法 (2) 転倒式描法

- ア 連続するお話の異なる時間の場面を同一画面に描く。
 イ テーブルの周りに人物を展開図のように描く。
 ウ 胴体は横向き、顔は正面向きの人物を描く。

- 4 次の文は材料について述べたものである。空欄に適する語句を答えなさい。

- (1) クレヨンは顔料を（ ）で固めたもので、なめらかで優しい感じの表現ができる。
 (2) 小麦粉に水、（ ），サラダ油などを加えて作る小麦粉粘土は滑らかで感触がよく、お団子作りなどに適している。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）満3歳以上の「表現」について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

（ 1 ）ことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな（ 2 ）や表現する力を養い、（ 3 ）を豊かにする。

ア 遊具 イ 感性 ウ 感じた エ 創造性 オ 模倣性

2 次の文は描画材料について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

絵の具には（ 1 ）絵の具と水彩絵の具がある。水彩絵の具は透明絵の具と不透明絵の具に分けられ、幼児には（ 2 ）絵の具が適している。その一種である（ 3 ）は、伸びがよくむらなく塗ることができる。

ア 油 イ 透明 ウ 不透明 エ ポスターカラー オ アクリル絵の具

3 次の構図名と具体的事例の組み合わせが正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

ア 異時同存描法 ・ 太陽と夜空
イ 多視点構図 ・ 胴体は横向き、顔は正面向き
ウ 基底線構図 ・ 道の両側に倒れた木
エ 透視構図 ・ お腹の中の赤ちゃん
オ 積み上げ遠近構図 ・ 家より巨大な桃

4 次の文は表現技法について述べたものである。技法の名称を答えなさい。

- (1) 紙にクレヨンやパスで絵を描いた上から絵の具を塗り重ねる。
(2) 球形や円筒に絵の具をつけて紙の上を転がす。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3	4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)
解 答									
得 点									

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）満3歳以上の「表現」の内容の取り扱いについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

豊かな感性は、身近な（ 1 ）と十分にかかわる中で美しいもの、優れたもの、（ 2 ）を動かす出来事などに会い、そこから得た感動を他の園児や保育教諭等と共有し、様々に（ 3 ）することなどを通して養われるようにすること。

ア 心 イ 行動 ウ 模倣 エ 環境 オ 表現

2 次の(1)～(3)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) にじみ絵 (2) デカルコマニー (3) フロッタージュ

ア 畳や葉っぱのようなざらついたものに紙をあて、鉛筆などで上からこする。
イ 画用紙に絵の具を落とし、ストローなどを使い、息を吹きかけ模様をつくる。
ウ 適度に湿らせた画用紙に水溶性絵の具をのせて模様をつける。
エ 画用紙に絵の具をのせて2つ折りにし、左右対称の模様を表現する。

3 次の文を読んで、最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 連続するお話の異なる時間の場面を同一画面に描く。
(2) 同じ対象物を1つの視点だけでなく、多面的に見た形を1つの平面に並べて描く。

ア 異方向同存式描法 イ 異時同存描法 ウ 集中比例法 エ 正面性描法

4 次の文は材料について述べたものである。材料の名称を答えなさい。

(1) パルプに接着剤を加えて作った粘土。乾燥すると硬く、軽くなり、強度も増す。
(2) 顔料を油脂で固めた描画材。材質が柔らかく、鮮やかな色調を持つ。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3		4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）満3歳以上の「表現」の内容について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 生活の中で（ ）ものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- (2) 様々な出来事の中で、（ ）したことを伝え合う楽しさを味わう。
- (3) いろいろな（ ）に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ア 自由 イ 感動 ウ 美しい エ 素材 オ 模倣
- 2 次の表現技法について、組み合わせが正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。
- ア ドリッピング・吹き流し
- イ マーブリング・はじき絵
- ウ フロッタージュ・墨流し
- エ バチック・こすり出し絵
- オ デカルコマニー・合わせ絵
- 3 次の文は描画材料について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- パスは顔料を（ 1 ）で固めたもので、材質が（ 2 ）、鮮明な色調をもつ。色鉛筆は顔料を（ 3 ）で固めたもので、繊細な表現を楽しむことができる。
- ア ロウ イ 固く ウ 柔らかく エ 接着剤 オ 油脂
- 4 次の文は幼児画の特徴について述べたものである。構図の名称を答えなさい。
- (1) 近くのは手前に描き、遠くのは手前のものに重ねないでその上に描く。
- (2) 胴は横向き、顔は前向きの人物や動物を描く。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2	3			4	
	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答									
得 点									

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）満3歳以上の「表現」の内容の取り扱いについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児期の自己表現は素朴な形で行われることが多いので、保育教諭等はそのような表現を受容し、園児自身の表現しようとする（ 1 ）を受け止めて、園児が生活の中で乳幼時期らしい様々な表現を（ 2 ）ことができるようにすること。

ア 生活 イ 意欲 ウ 考え エ 楽しむ オ 遊び

2 次の構図名と具体的事例の組み合わせが正しいものを3つ選び、記号で答えなさい。

ア 正面構図・一本の線の上に描かれた人物と家
イ 透視構図・土の中のモグラ
ウ 積み上げ遠近構図・家より巨大な犬
エ 多視点構図・見えない側のタイヤ
オ 折半式構図・道の両側に倒れた木

3 次の文は描画材料について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) ポスターカラーは透明絵の具の一種である。にじみや塗り重ねに適する。
(2) 鉛筆の芯の硬度は「A」「B」の記号で示される。「A」は硬くて、線は薄い。
(3) クレヨン顔料をロウで固めたものである。パスより硬い。

4 次の文は表現技法について述べたものである。技法の名称を答えなさい。

- (1) 金網とブラシを使って、絵の具を霧状に定着させる技法。
(2) 布や紙などを貼り合わせる技法。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1		2			3			4	
	(1)	(2)				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 幼児の造形活動の素材について、(1)～(3)に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形活動に用いる素材は、粘土や紙などのように幼児の働きかけで変化する（ 1 ）性の高いものがよい。（ 2 ）や廃品などもよい。（ 3 ）であること、身近にあって手に入りやすく、安価であることも大切である。

ア 人まね イ 可塑 ウ 安全 エ 新品 オ 自然物

2 次の(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) ドリッピング (2) フロッタージュ

ア 適度に湿らせた画用紙に、水溶性絵の具で描いてにじませる。

イ 木目や畳などざらついたものの上に紙を置き、クレヨンや鉛筆などで上からこする。

ウ 画用紙の上に数種類の絵の具を落とし、口で吹くなどして絵の具をたらして模様をつくる。

3 次の文を読んで、最も関係の深い語句を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 顔は前向き、胴体は横向きの人物や動物を描く。

(2) 自分より小さい「イヌ」を、自分より大きく描く。

(3) 画面下に一本の線をひき、その上に自分の知っている絵を描く。

ア 集中構図 イ 基底線構図 ウ 異時同存描法 エ 多視点構図 オ 正面構図

4 次の問いに答えなさい。

(1) 不透明絵の具の一種で、色画用紙や段ボールに絵を描くのに向いている絵の具を何というか。

(2) 顔料と接着剤で固めたもので、材質が硬く、繊細な表現を楽しむことのできる画材を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示）満3歳以上の「表現」の内容について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 生活の中で様々な音・色・形・()・動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。
- (2) 様々な出来事の中で、感動したことを()楽しさを味わう。
- (3) かいたり、つくったりすることを楽しみ、()に使ったり、飾ったりなどする。
- ア 自由 イ 学び ウ 伝え合う エ 遊び オ 手触り
- 2 次の(1)・(2)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 油粘土 (2) 小麦粉粘土
- ア 一定の硬さを保ち、扱いやすく、保管がしやすい。
- イ 乾燥すると硬くなり、強度も増して軽くなる。
- ウ 感触がよく、2～3歳の遊びには適している。夏場は腐敗しやすい。
- 3 次の文で正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。
- (1) スパッタリングとは、型紙の上から絵の具をスプレーしたりし、型紙をはずすとできる技法。
- (2) 糸目転がしとは、たこ糸を巻いた芯やローラーに絵の具をつけ、紙の上を転がす技法。
- (3) 型押しとは、凹凸のあるものの上に紙をのせ、上からこすって模様を浮き出させる技法。
- 4 次の文は幼児画の特徴について述べたものである。構図の名称を答えなさい。
- (1) 乗り物に乗っている人の全身を描くなど、見える部分と見えない部分が混在した表現。
- (2) 道の両側の木や家を、道の外側に倒したように描く表現。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2		3			4	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------